

科目名	音楽Ⅳ						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1 単位	2 年次	後期			
担当者名	久光 明美 村上 玲子他		関連する資格	保育士資格 選択			
授業概要 楽典の知識や器楽・声楽の演奏を通して総合的な表現技術を高め、保育現場で通用する豊かな音楽表現実践力を身につける。これまでに学んできたリズム、音階、和音等の知識を応用して、音楽のアレンジ方法も学ぶ。さらに、子どもの発達段階に応じた音楽表現活動の展開方法や即興演奏の技術も習得する。							
到達目標 1. 既習のコードを用い、様々にアレンジした伴奏で弾き歌いができる。 2. 表情豊かにピアノを演奏したり、歌唱することができる。 3. ピアノ演奏、歌唱、弾き歌い、合奏を通して自己表現ができる。 4. 子どもの豊かな表現力を培うための音楽表現活動が実践できる。						成績評価方法 定期試験（実技）・ 授業態度・提出物による総合評価	
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）	○			○	○		30
小テスト、授業内レポート		○					10
宿題、授業外レポート			○				20
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク				○	○		10
演習	○	○	○	○	○		20
実習							
授業計画と概要					アクティブラーニング		
1) オリエンテーション							
2) 弾き歌い（生活の歌）					グループワーク・ディスカッション		
3) 弾き歌い（行事の歌）					グループワーク・ディスカッション		
4) 弾き歌い（季節の歌）					グループワーク・ディスカッション		

5) 弾き歌い (いろいろな場面での歌)	グループワーク・ディスカッション
6) 弾き歌い (人気ソング)	グループワーク・ディスカッション
7) 声のアンサンブル I	グループワーク
8) 声のアンサンブル II	グループワーク
9) 声のアンサンブル III	グループワーク
10) 声によるパーカッション I	グループワーク
11) 声によるパーカッション II	グループワーク
12) アレンジへの取り組み I	個人ワーク
13) アレンジへの取り組み II	グループワーク
14) アレンジへの取り組み III	グループワーク・ディスカッション
15) 歌と弾き歌いの試験	振り返り・ディスカッション
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・毎回のレッスンに向けてのピアノ、歌の個人練習を積極的に行う。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「こどものうた 100」(チャイルド社) 「子どもの発達と音楽表現」(学文社) プリント配布	音楽 I～III、保育内容 (音楽表現)
備考	
<ul style="list-style-type: none"> ・レッスン内容を授業記録表に記入し、練習の振り返りを行い課題を明確にすること。 ・毎回のレッスンには練習して臨み、楽譜を読む習慣をつけること。 ・楽譜は、暗譜して演奏できるようにすること。 	